

## 2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	着付け	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	1 Semester
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	単位 時間	2 60	曜日・時限	木曜 3,4限
教員	竹内 亜沙子						

【到達目標】 着物の基礎知識を学び、浴衣の着付け、小紋と名古屋帯、振袖や留袖の着付けや袋帯の帯結びを習得する。自装・他装の着付け、山野流の初伝・中伝の資格取得。

【授業の学習内容】

着物の専門知識、技術、立ち振る舞いなど基礎からしっかりと習得する授業を行う。伝統文化である着物の重要性和着付けの価値を学習して、継承する授業へ繋げる。業界人として、知識の不可欠さと技術レベルの高揚、達成感を実感して欲しい。

【教員実務経験】

長きに渡り着物の着付けの指導にあたり沢山の門下生を輩出。ブライダル業界では現場での着付けをトータルで指導している。山野流の着付けの資格指導を九州でとりまとめスペシャリストを目指す役割を担っている。

No.	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	実技	着物の基礎知識 道具の確認、準備の仕方 浴衣の着付けと細帯の結び方①	
2	2回目	実技	浴衣の着付けと細帯の結び方②	
3	3回目	実技	外出着(小紋)の着付 ① 下着の着方から長襦袢の着方	小テスト5点
4	4回目	実技	外出着(小紋)の着付け② 名古屋帯の一重太鼓	
5	5回目	実技	外出着(小紋)の着付け③ 名古屋帯の一重太鼓	小テスト5点
6	6回目	実技	外出着(小紋)の着付け④ 名古屋帯の一重太鼓	
7	7回目	実技	中間試験 筆記・実技試験 (山野流初伝査定)	中間試験20点
8	8回目	実技	留袖の着付けと帯結び① 袋帯の二重太鼓	
9	9回目	実技	留袖の着付けと帯結び② 袋帯の二重太鼓	小テスト5点
10	10回目	実技	留袖の着付けと帯結び③ 袋帯の二重太鼓	
11	11回目	実技	振袖の着付けと帯結び① 帯結び二枚扇	小テスト5点
12	12回目	実技	振袖の着付けと帯結び② 帯結び二枚扇	
13	13回目	実技	振袖の着付けと帯結び③ 変わり結び	
14	14回目	実技	期末試験 筆記・実技試験 (山野流中伝査定)	期末試験50点
15	15回目	実技	期末試験フィードバック・成績評価 ～着付け総仕上げ～	小テスト10点

準備学習  
時間外学習

準備: 脱ぎ気のしやすい格好で。道具を毎回確認する。

評価方法

●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度)  
 ◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)  
 ◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、  
 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

受講生への  
メッセージ

実技がメインになる為、遅刻や欠席を出来るだけせず、技術をしっかりと習得して欲しい。

【使用教科書・教材・参考書】

着付け教本